

# 衆議院特別委員会での 戦争法案強行採決に抗議し、

# 糾弾します



15日、与党単独で、戦争法案の強行採決を行いました。16日には本会議採決を宣言しています。

安倍首相の「ていねいな説明を繰り返し、国民の理解も進んだ」との強弁に対して、与党内でも、「国民の理解が進んだと言い切る自身はない」（石破大臣）という意見が蔓延しています。300におよぶ地方自治体からは、与党系議員をふくむ全会一致、賛成多数で安保法制の廃案・反対・慎重審議の意見書が続々と決議されています。

「これ以上やっても法案への理解は深まらないし、政権の支持率もやればやるほど落ちる」（公明幹部）との判断での強行採決であり、国会史上空前の95日の会期延長をして、衆議院の60日ルールも活用し、何が何でも戦争法案を成立させようという狙いです。

異論に耳を傾けようとせず、疑問に答えようとしないまま、審議時間が積み上がったからといって採決に突き進む。決める政治を標榜し、虚構の議席で突っ走る安倍政権の暴走に断乎抗議し、糾弾します。

戦後70年間積み上げてきた「戦争しない国・日本」を「アメリカとともに世界中で戦争できる国」にすることは断じて許せません。この法案の問題点を大いに論議し、全国の法案撤回の運動と連帯し、県内津々浦々で反対・撤回要求の運動を展開していきましょう。与党が次の選挙で大敗が鮮明となるような、圧倒的世論の高まりをつくっていきましょう。

**憲法違反の法案は、どんなに審議を重ねても『合憲』にはなりません。  
空前の運動で戦争法案廃案の圧倒的世論をつくっていきましょう!**